

eduroam JP 認証連携IDサービスのご案内

末永光弘(国立情報学研究所)

2017年6月7日 NII学術情報基盤オープンフォーラム

概要

- 認証連携IDサービス

- 仮名アカウント発行システムの後継サービス
- 学認のIdPとの認証連携によりeduroam用アカウントを発行
- 本人用アカウントに加え、少数のゲストアカウントを発行可能
 - 教職員のみ、学生は発行不可

変更点

- 名称の変更

- 旧サービス: eduroam 仮名アカウント発行システム

<https://eduroamshib.nii.ac.jp/>

- 新サービス: eduroam JP 認証連携IDサービス

<https://federated-id.eduroam.jp/>

- enityIDも変わりますので、学認参加IdPへの設定もお願いします。

- 注釈の追加

- まぎらわしい文字の判別のため

変更点

- 発行可能なアカウントの数
 - 教職員、学生ともに最大10個
 - 機関ごとに上限を指定可能(10個以下)
- アカウントの有効期間
 - 旧システム:一年
 - 認証連携IDサービス
 - 教職員用は一年
 - 学生用アカウントは最長3か月
 - 学生用アカウントは年度ごとに更新確認
 - 指定された期間中にログインして継続の意思を示す必要あり
 - 期間内に意思確認できなかったIDは一括失効

変更点

• レルム

- 旧システム: 一律でXXXXXXXX@upki.eduroam.jp
- 認証連携IDサービス
 - 本人用: XXXXXXXX@DDD.d.eduroam.jp
 - ゲスト用: YYYYYYY@DDD.v.eduroam.jp
 - DDDには機関ごとに異なる文字列を付与
 - 原則ドメイン名を基準とする。
 - ex) NIIの場合、nii.ac.jpから、DDDにはniiが入る
 - DDDの文字列は最大32文字

新機能

• ゲストアカウント発行機能

- 教職員のみ発行可能
 - 短期有効(一週間)なID: デフォルトでは50
 - 長期有効(一カ月)なID: デフォルトでは10
- 発行数は機関ごとに設定可能
 - 短期50以下、長期10以下の範囲
- 必要数をまとめた発行と、同意書PDFの出力も可能
 - CSV出力してほかのシステムで処理もできます
- 実装予定: ゲストアカウントの有効範囲限定
 - アカウント発行機関のアクセスポイントでのみ有効とする

新機能

• クライアント証明書による認証

- eduroam JP接続用のクライアント証明書を発行
 - eduroam専用プライベートCAから発行するため、ほかでの利用は不可
 - 接続時にパスワードなしで利用可能となる

• 機関管理者向け機能

- 発行済みIDの一覧の確認と個別失効
- 学生向け年度更新確認
 - 確認期間の指定と、期間終了後の未確認アカウントの一括失効

利用について

- 学認参加IdPから送信する属性

- organization : 機関を識別するため(必須)
- eduPersonTargetedID : 個人識別のため(必須)
- eduPersonAffiliation : 教職員・学生の識別(選択)
- eduPersonEntitlement : 機関管理者権限確認
(選択)

必要な値については認証連携IDサービスの解説サイトを参照してください。

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/8ldHAQ>

利用について

- **利用規約**

- 現在策定中
- 暫定版は以下よりご覧いただけます。

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/SVhHAQ>

お問い合わせ先

eduroam JPの詳細については以下をご覧ください
<https://www.eduroam.jp/>

eduroam全般のお問い合わせ先：
eduroam-office@nii.ac.jp